

科目名称:	ファイナンシャルプランニング演習 I	
担当者名:	北川 良徳	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
皆さんはなりたい自分に向かって日々歩んでいますか。描く将来の自分の姿を実現する為、現在の生活状況から未来にわたる自身の将来設計をするとき、生活経済の知識があると、実現過程の経済準備面が見える化でき、実現の可能性が高くなります。ファイナンシャルプランニング演習 I では、将来皆さんが自立した生活を継続できるように、社会生活に必要なお金の知識を身につけて、あなたの100年人生の木の一つひとつのリンゴの実が増えていくよう、6つの分野から幅広く学び、修得した知識が生活に役立つと実感できる学修になります。ファイナンシャルプランニングを勉強することは、生活に必要なお金の知識を実社会デビュー前に学ぶチャンスです。		
授業の達成目標・到達目標		
この講座は、1年後期（ファイナンシャルプランニング演習 I）、2年前期（演習 II）、2年後期（演習 III）それぞれ週1回講義（90分）計45回の授業を実施します。ファイナンシャルプランニング演習 I・IIは、ファイナンシャルプランニングの基礎知識を学び、今後社会に加わったとき、社会保険・税・金融・不動産・相続など経済知識を修得していることで、より信頼され活躍できる人になる。2年前期の演習 II・後期の演習 IIIでは、FP技能士国家試験受験できるよう、出題ポイント・過去問題による演習を行い、卒業時に資格取得を最終目標として、9月・1月のFP技能士検定試験を受験し国家資格取得を目指します。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)			70	30	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ファイナンシャルプランナー	《経験年数1》 24年
	《内容2》 生命保険・損害保険の相談・募集と関連6分野などの指導・教育、 研修講師	《経験年数2》 40年・37年、10年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
受講するみなさんが、生活を続けていく中で使っていく知識であり、自身の未来プランを組む、今後の自身の生活シミュレーション時に、また、未来の就業先での仕事で、使うことを想定して、レポートを作成していただきたいと思えます。また、各授業の復習をその日・翌日に行うことが習得のコツ、丁寧に知識を積み上げましょう。

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
公的年金制度：遺族・傷害・老齢の各制度内容・受取額の習得	3つの制度内容と国民・厚生年金受取額を具体的に説明できる	制度概要の説明、国民・厚生年金受取額を概ね説明できる	年金制度概要説明はでき、国民年金受取額の説明ができる	制度概要は理解しているものの、理解度に不足がある
個人保険・企業保険・社会保険で生活リスクにちょうどいい備え、各制度を習得	現在の生活水準を維持する為各制度内容と、組合せる必要を理解	生活に備える制度として、それぞれの制度内容を理解している	困ったときの安心の備えとして、3つの各制度を理解している	いくつかの制度内容は理解している
経済の流れと運用の基本的知識の習得、所得と税制度の知識習得	経済の流れ、生活資金準備に積立と資金運用知識と税制度を習得	経済の動き、積立・運用方法を理解、所得に伴う税制度を理解	積立・運用の知識を理解、所得と税制度を理解	貯蓄・運用が必要と理解、所得の種類により税が違うことは理解
不動産・財産評価、相続と贈与時の税制度習得、ライフプラン(LP.)を組める	不動産の評価方法・価値、相続・贈与時の税制度習得、LP.を理解	不動産の評価と税、相続・贈与の知識と関わる税、LP.を理解	相続・贈与・不動産の評価、関わる税制の概要、LP.について理解	相続・贈与・不動産の概要知識と税概要について概ね解る

授業の内容・計画	事前学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 大学生活のお金チェックと将来設計・ライフイベント表・ライフプラン、パーソナルファイナンス	1ヵ月の生活支出、現在～未来のライフイベント、就きたい仕事	30分
第2回 ライフデザインに収入・支出・健康とFP技能士資格者の知識(Gワーク有)	学生期・就業期・年金期、家計の収入・支出、準備と備え	30分
第3回 健康的な安心生活に公的保険・企業の保険・個人保険・・・生活の備えに助け合い・支え合いの制度	健康保険・介護保険・年金保険	30分
第4回 生活経済・経済社会・金融の基本知識、お金の価値と運用	NISA、債券・株式・投資信託、iDeCo	30分
第5回 生活資金準備・生活リスク・所得と税制度(Gワーク有)	給与明細書、損害保険	30分
第6回 生活リスクに備える①	公的保険、生命保険	30分
第7回 どんなりスクに、いつまで、いくら(Gワーク有)	あなたが生活に困ったと思うとき	30分
第8回 生活リスクに備える②	自動車保険と保険証券、傷害保険	30分
第9回 生活リスクに備える③	火災保険、賠償責任保険	30分
第10回 生活リスクに備える④役立つ保険設定(Gワーク)	保険の種類と組合せ	30分
第11回 健康生活を続けて所得、相続・贈与と税	所得の種類	30分
第12回 お金の価値を増やす、貯蓄と金利・運用(Gワーク)	金利とは、預貯金、運用係数でシミュレーション	30分
第13回 不動産(アパートを借りる・買う)・財産の評価	土地の評価と評価額	30分
第14回 世帯情報例を基にライフプラン(LP.)とちょうどいい生活の備えを考える(グループワーク)	世帯例情報から、具体的なライフプランについて考える	60分
第15回 世帯情報例を基にライフデザインを討論、LP.⇒資金準備・備えの提案資料作成(Gワーク)⇒提案説明	世帯例情報から、具体的なライフプラン⇒資金・備えのプランを考える	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、各回の予習を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポート提出 70%、グループワーク発表・授業の取組姿勢・態度 30%。

課題に対するフィードバック

グループワーク発表、紙面提出レポートは採点・評価します。

教科書・参考書

教科書：FP3級合格のトリセツ
参考書：FP3級合格のトリセツ 問題集、他、資料随時配布
※毎回の授業で使用する